



**世界遺産 謎の海上都市遺跡ナンマドール（ミクロネシア連邦）**

ポンペイ島の南東部の浅瀬に、玄武岩と珊瑚岩で築かれた92の人工島による巨大遺跡がナンマドール。この世界有数のマンゴロープの森に囲まれた遺跡は、11世紀頃栄えたサウテロール王朝によって建造されたといわれていますが、様々な伝説が語り継がれ、真実は未だ謎に包まれています。判明している事としては、ナンマドールは政治と信仰のための特別な都市で、王様や兵士達の住居や墓地としての建造物であったようです。ボートで入り組んだ水路を進み、南海の孤島にひっそりとたたずむ遺跡群に歴史のロマンを感じてみてはいかがでしょうか。

## 北太平洋の楽園3カ国を一度に巡る旅

# パラオ共和国、ミクロネシア連邦とマーシャル諸島共和国 10日間

旅行期間：2024年1月27日（土）～2月5日（月）

旅行代金：849,000円

### ◆ ミクロネシア連邦共和国 ◆

ミクロネシア連邦共和国は、太平洋の赤道の北半球側に沿ってヤップ・チューク・ポンペイおよびコスラエの4州と607の小さな島々からなる国。国土の面積は、総計約700平方キロメートル（日本の奄美大島と同規模）しかありませんが、太平洋上の780万平方キロメートル以上の海域にちらばっており、西の端（ヤップ）から東の端（コスラエ）まで、その距離2,550キロメートルにも及びます。ドイツ領、日本の委任統治、アメリカの信託統治の後、1986年独立。最大の島であるポンペイ島は800m級の山々が2峰あり、島のほとんどがジャングルに覆われています。水と緑に恵まれたこの島は「太平洋の花園」と呼ばれ、ミクロネシアの動植物の宝庫でもあります。この島にポンペイ州の州都コロニア、ミクロネシア連邦の首都パリキールが置かれています。言語は英語と現地語。四季はなく年間通し平均気温27度前後。おおまかに12～4月が乾季。



世界遺産ロックアイランド（空撮イメージ）

**世界遺産**



### ◆ パラオ共和国 ◆

日本から3000キロほど南、フィリピンの東に位置する200以上の島々からなる多島国家。人が住んでいるのは9島のみで、残りは無人島。スペイン、ドイツの植民地を経て、日本の委任統治、アメリカの信託統治の後、1994年独立。首都はバベルダオブ島のマルキヨク。言語は、パラオ語と英語。四季はなく年間通し平均気温28度前後。11月～5月が乾季。島々の美しさは秀逸。隆起サンゴの島々は長年の侵食によりマッシュルーム型の奇観を作り、ロックアイランドとして広く知られ、世界遺産にも指定されています。ペリリュー島は、第二次世界大戦時に太平洋地域の中で最も激戦地だったことで知られています。

旅行企画・実施

株式会社 **旅のデザインルーム**

《写真は全てイメージです》

◆北太平洋の楽園3カ国を一度で巡る旅！謎の海上都市遺跡ナンマドールも訪問！◆

# パラオ共和国、ミクロネシア連邦とマーシャル諸島共和国 10日間

| 出発日限定期別企画 |                  |
|-----------|------------------|
| 旅行期間      | 1月27日(土)～2月5日(月) |
| 旅行代金      | 849,000円         |
| 一部屋利用追加代金 | 94,000円          |

- 利用予定航空：ユナイテッド航空。
- 添乗員：成田空港より全行程同行致します。
- ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくはお問い合わせ下さい。
- 食事：朝食8回、昼食7回、夕食6回（機内食除く）
- 海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
- 旅券余白：4頁以上
- 旅券残存期間：パラオ共和国入国時6ヶ月以上
- 最少催行人員：10名（最大20名）

## ◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆

- 成田空港使用料・保安サービス料 3,010円
- 国際観光旅客税：1,000円
- 米国電子渡航認証システム(ESTA)：要（実費 21米ドル）
- ESTA取得代行手数料：4,400円（税込）
- ロックアイランド許可証（現地払い）：52米ドル
- 燃油サーチャージ目安：28,500円（2023年7月現在）

## ◆マーシャル諸島共和国◆

太平洋のど真ん中、グアムとハワイの中間にあたりに位置する29個の環礁（珊瑚礁で出来たリーフ状の島）の国。ドイツの保護領、日本の委任統治、アメリカの信託統治の後、1986年独立。首都はマジュロ環礁。言語は、マーシャル語と英語。四季ではなく年間を通じ平均気温27度前後。おおまかに1～4月が乾季。何よりサンゴで出来た細長い国土と青い海の美しさが魅力。「太平洋に浮かぶ真珠の首飾り」と称されるほどです。



島ではなく環礁が国土の国



※2011年3月1日以降にイラン、イラク、シリア、スエダン、イエメン、ソマリア、リビア及び北朝鮮に渡航または滞在したことがある方、また、2021年1月2日以降にキューバに渡航したことがある方は、米国非移民ビザ（実費160米ドル）の取得が必要となるため、必ずお申し出下さい。

イヤホンガイド・サービスを使用します。

昼・夕食時にドリンク・ウォーターをサービスします。

**ご旅行条件（要約）** この書面は旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。別途交付する旅行条件書（全文）をお受け取りの上、必ずご確認の上お申し込み下さい。

●この旅行は、株式会社旅のデザインルームが企画・実施する旅行であり、お客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。旅行契約の内容・条件は別途お渡しする旅行取引条件及び旅行条件（全文）、ご出発前にお渡しする最終日程表（確定書面）によります。

●旅行代金に含まれるもの：旅行日程に明示した運輸機関の運賃、食事料金、観光料金（バス料金・ガイド料金・入場料）宿泊料金2名一室を基準）及び税・サービス料、海外空港諸税、スヌーケリング料金、団体行動中のチップ、添乗員料金等はその旅行料金に含まれます。以上の費用は、お客様の都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。

●旅行代金に含まれないもの：上記の他は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。超過手荷物料金、一部屋利用の場合の追加料金、希望者のみ参加されるオプショナル・ツアーの料金、渡航手段関係諸費用（旅券印紙代、手続代行料金など）、日本国内の空港施設使用料・保安サービス料、国際観光旅客税、燃油サチャージ、国内におけるご自宅からツアーバス集合及び解散空港間の交通費・宿泊費、クリーニング代、電報電話料金・ホテルのボイド料金等のうちのチップ、日程明示外及び別途追加の飲食費、他一切の個人的性質の諸費用。

●取消料

旅行解除期日 旅行代金 取消料（お一人）

●ピーク時の旅行（41日前まで不要） 旅行代金の10%（限度額5万円）

●40日前から31日前までの取消し 30万円以上 50,000円

●その他の期間の旅行（31日前迄不要） 15万円以上 30,000円

●30日前から21日前迄の取消し 30万円未満 15万円未満 20,000円

以下は全ての旅行に適用 旅行代金の20%

●2日前から3日前までの取消し 旅行代金の50%

●前々日から当日 旅行代金の100%

●無連絡不参加及び旅行開始後 旅行代金の100%

●「ピーク時」とは12/20～1/7、4/27～5/6及び7/20～8/31をいたします。

●取消料の対象なるお支払い対象旅行代金とは、旅行代金と追加代金（一部屋利用追加代金・航空機の等級変更による差額など）の合計額です。

## スケジュール

| 都市名                             | スケジュール   |
|---------------------------------|--|
| 東京                              | ★スーツケースは無料宅配サービスで、身軽に空港へ。<br>■午前（11:05）、成田空港より空路、グアム乗り継ぎ、ミクロネシア連邦ポンペイ島（旧ボナペ島）へ。<br>■深夜、着後、ホテルへ。<br>（ポンペイ島泊）  |
| ポンペイ島                           | ■終日、世界遺産に指定される謎の海上都市遺跡ナンマドールの観光。ポンペイ島の南東部の浅瀬には、玄武岩と珊瑚岩で築かれた92の人工島による巨大遺跡があります。この世界有数のマンガロープの森に囲まれた遺跡は、6世紀から栄えたサウテロール王朝によって建造されたといわれていますが、様々な伝説が語り継がれ、実実は未だ謎のまま。また、ケブロイの滝（コショウ農園）にもご案内します。<br>★夕食は、名産のマンガロープ蟹をご賞味下さい。（ポンペイ島泊） |
| ポンペイ島滞在（ナンマドール）（ケブロイの滝）（コショウ農園） | ■午前、ポンペイ島北部の観光。島の中心コロニアでは、アルフォンス砦（鐘楼）、カトリック教会、日本統治時代の遺跡など。また、独特の木工彫刻が見られるカビンガマランギ村、首都パルキールなどにご案内します。<br>■午後、空路（2カ所経由）、マーシャル諸島連邦共和国マジュロへ。<br>（マジュロ泊）  |
| ポンペイ島マジュロ                       | ■終日、マジュロの観光。マーシャル諸島の歴史・文化を展示するアレレ博物館、伝統のカヌー工房、ヤシの実から作るココナッツ石鹼工場、太平洋戦争の慰靈碑があるマジュロ平和公園、最西端のローラビーチなどにご案内します。環礁をつなぐ一本道の両側にはエメラルドに輝く美しい海の景観が広がります。<br>★昼食は、ココナッツミルク料理などをマーシャル料理をご賞味下さい。（マジュロ泊）                                    |
| マジュロ滞在                          | ■午前、マーシャル伝統のハンディクラフト体験をお楽しみ下さい。お土産としても人気があり、ヤシの葉を折りたたみ作る「アミモノ」の文化体験です。<br>■午後、自由行動。<br>★夕食は、バーベキュー料理をどうぞ。（マジュロ泊）   |
| マジュロ滞在                          | ■午前、空路（アイランド・ホッピング便／途中3カ所に寄航）、グアムへ。<br>■グアム着後、航空機を乗り継ぎ、パラオ共和国へ。<br>■深夜、着後、コロール島のホテルへ。<br>（パラオ泊）  |
| (ロックアイランド)（コロール島）               | ■午前、海から見るパラオ観光ツアーへ。パラオで最も美しい景色の一つと言われるロックアイランドへ。緑のジャングルで覆われた石灰岩の小島が点在する光景を船上からご覧下さい。世界遺産に登録されています。<br>■午後、パラオの経済の中心である旧首都コロール島の観光。パラオの歴史・文化を展示する国立博物館、国際サンゴセンター、日本統治時代の建物など。（パラオ泊）   |
| パラオ滞在（ペリリュー島）                   | ■終日、第二次世界大戦の激戦地であったペリリュー島を訪問。当時の様子を今に伝える戦跡や慰霊碑を訪れます。2015年、天皇陛下も訪問されました。今は素朴で美しい村とジャングルが広がります。（パラオ泊）  |
| パラオ                             | ■終日、自由行動。各種オプショナルツアーにてお楽しみ下さい。詳しくはツアー催行決定時に詳細をご案内いたします。<br>★ホテルのお部屋は、深夜の出発までご利用いただけます。<br>■翌未明、空路、グアムへ。（パラオ+機中泊）   |
| グアム                             | ■早朝、グアム着。着後、空港ラウンジにてご休憩下さい。<br>■昼、空路、帰国の途へ。<br>■午後（15:30）、成田空港着。入国、通関後、解散。<br>★スーツケースは無料宅配サービスで、身軽にご自宅   |
| 東京                              | （赤道）   |

## ★「パラオ共和国、ミクロネシア連邦とマーシャル諸島共和国」ご案内とお願い★

◇航空便のスケジュールが流動的な地域です。そのため、観光順序・内容などに変更が発生する可能性が高いコースであること、予めお含みおき下さいよう、お願い申し上げます。

◇場所柄、ホテルの設備は國際レベルには及ばず、簡素なものとなります。浴室はシャワーのみが基本となり、お湯の出、水回りなど完全ない場合が殆ど。夜間停電の場合はございません。

◇ボーラー不足や不在が多い地域のため、お客様ご自身でお荷物をお運びいただく場合が多くなります。予めご了承下さい。

◇発展途上の國々のため、未舗装の道路移動もございます。また、今回のご旅行では、お一人様が二席お使いいただける大型バスはご用意出来ませんので、予めご了承下さい。四輪駆動車など小型車に分乗となる場合もございます。

◇昼食は、ボックスランチとなる場合も多くございます。

◇フライトの遅延・欠航など当社の関知しない事由により旅程を変更せざるを得ない場合や帰国が遅れた場合など、追加で必要となる費用は、旅行業約款に基づき、ご参加者の皆様にご負担いただくことになります。予めご了承の上、お申込み下さいよう、お願ひいたします。

●お一人で参加され相部屋を希望し、お相手の方が見つからなかった場合は、一部屋利用追加代金の半額にて、お一部屋をご利用いただけます。但し、ご出発日の4日前までにお申込みのお手続きを完了されたお客様に限ります。尚、相部屋の方は、禁煙・喫煙、同年代などのご希望には添えません。また、お申込み後、相部屋→一部屋へ希望を変更することは原則不可となります。

●日程表のマークの見方

□：朝食、□：昼食、□：夕食、□：機内食、□：食事なし

○：入場観光、○：下車観光、△：車窓観光

●海外渡航準備情報について

訪問国については、外務省より「海外危険情報」など、渡航に関する情報が公表されています。それら情報にに関しては以下で確認下さい。

・外務省海外安全ホームページ <http://www.pubzen.mofa.go.jp/>

・厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

この旅行条件は2023年7月27日を基準としております。また旅行代金は2023年6月21日現在有効な航空運賃・適用規則に基づいて算出しています。

◆旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。担当者からの説明にご不明な点がございましたら、遠慮なく下記、旅行業務取扱管理者までご質問下さい。